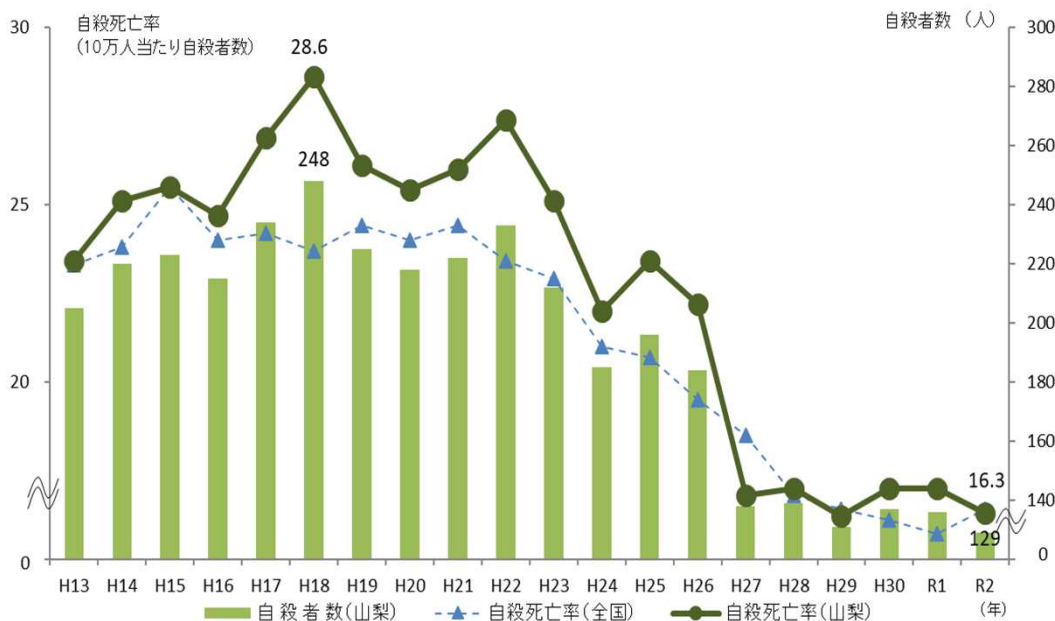


# 自殺の現状

## 1 住所地ベースの自殺者数等

◇人口動態統計(概数)(厚生労働省) 住所地を基に死亡時点で計上

- ・R2年の本県の自殺者数(概数)は、**129人**となり、S52年以来43年ぶりに130人を下回った。
- 自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、**16.3**となりH29年以来3年ぶりに全国平均を下回った。



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
自殺者数(山梨)	205	220	223	215	234	248	225	218	222	233
自殺死亡率(山梨)	23.4	25.1	25.5	24.7	26.9	28.6	26.1	25.4	26.0	27.4
自殺死亡率(全国)	23.3	23.8	25.5	24	24.2	23.7	24.4	24	24.4	23.4

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
自殺者数(山梨)	212	185	196	184	138	139	131	137	136	129
自殺死亡率(山梨)	25.1	22.0	23.4	22.2	16.8	17.0	16.2	17.0	17.0	16.3
自殺死亡率(全国)	22.9	21	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4
順位	12位	17位	7位	6位	39位	23位	31位	14位	15位	26位

出典:人口動態統計(厚生労働省)  
令和2年は概数の概況

### 【性・年齢階級別】

- ・性別では、男性が16人減となった一方、女性は9人増。

総数

年齢	山梨県						H28~R2平均	R2-R1
	H28	H29	H30	R1	R2			
20歳未満	2	3	2	11	6	4.8	△5	
20~39歳	24	30	29	24	22	25.8	△2	
40~59歳	54	31	52	43	47	45.4	4	
60~79歳	43	54	45	45	43	46.0	△2	
80歳以上	16	13	9	13	11	12.4	△2	
不詳	0	0	0	0	0	0.0	0	
計	139	131	137	136	129	134.4	△7	

全国		
R1	R2	R2-R1
653	761	108
4,461	4,924	463
6,633	6,731	98
5,585	5,566	△19
2,057	2,196	139
36	44	8
19,425	20,222	797

男

年齢	山梨県						H28~R2平均	R2-R1
	H28	H29	H30	R1	R2			
20歳未満	1	3	2	8	1	3.0	△7	
20~39歳	18	23	18	17	15	18.2	△2	
40~59歳	37	23	38	37	32	33.4	△5	
60~79歳	31	37	29	33	30	32.0	△3	
80歳以上	9	10	3	8	9	7.8	1	
不詳	0	0	0	0	0	0.0	0	
計	96	96	90	103	87	94.4	△16	

全国		
R1	R2	R2-R1
432	461	29
3,257	3,406	149
4,873	4,689	△184
3,817	3,630	△187
1,258	1,350	92
31	40	9
13,668	13,576	△92

女

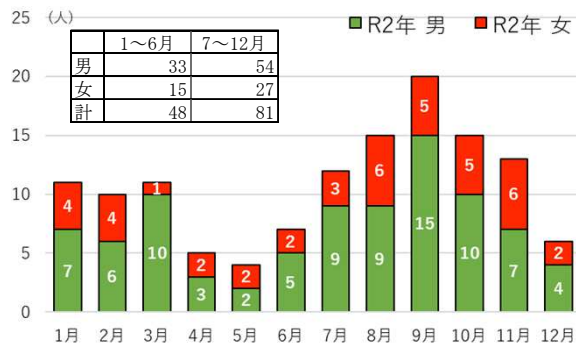
年齢	山梨県						H28~R2平均	R2-R1
	H28	H29	H30	R1	R2			
20歳未満	1	0	0	3	5	1.8	2	
20~39歳	6	7	11	7	7	7.6	0	
40~59歳	17	8	14	6	15	12.0	9	
60~79歳	12	17	16	12	13	14.0	1	
80歳以上	7	3	6	5	2	4.6	△3	
不詳	0	0	0	0	0	0.0	0	
計	43	35	47	33	42	40.0	9	

全国		
R1	R2	R2-R1
221	300	79
1,204	1,518	314
1,760	2,042	282
1,768	1,936	168
799	846	47
5	4	△1
5,757	6,646	889

出典:人口動態統計(厚生労働省)

### 【R2年 月・性別自殺者数】

- ・上期为少なく、下期が多い。(例年とは異なる現象)



出典:人口動態統計(厚生労働省)

### 【R2年 原因・動機】

- ・下期では、経済生活問題が増加。

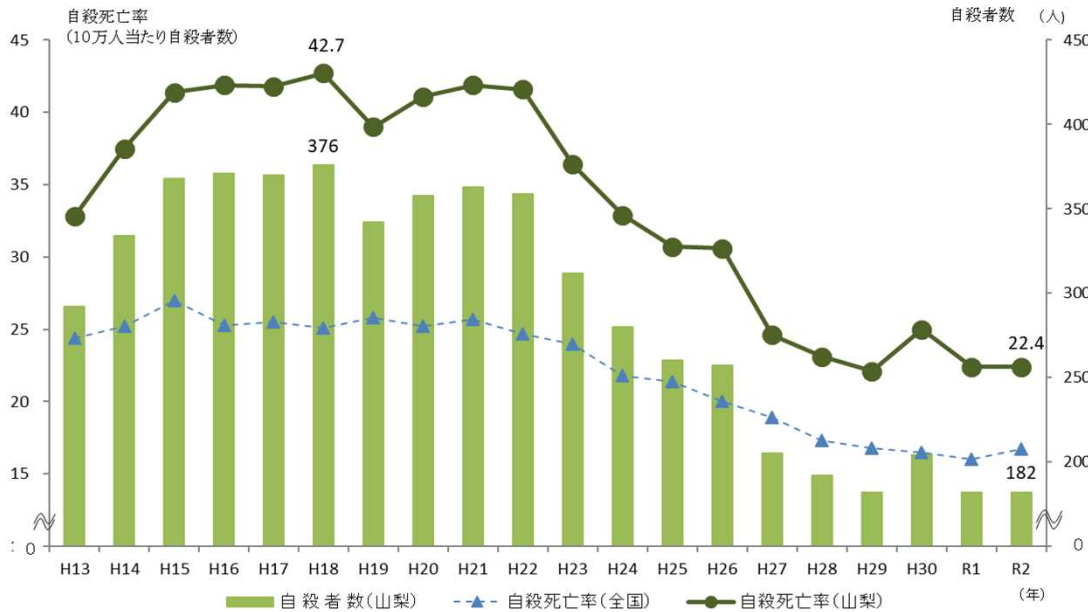
	1月~6月	7月~12月	差	
家庭問題		8	6	△2
健康問題	24	26	2	
経済・生活問題	5	10	5	
勤務問題	1	4	3	
男女問題	0	2	2	
学校問題	1	2	1	
その他	4	4	0	
不詳	21	38	17	

出典:地域における自殺の基礎資料(発見日・居住地)(厚生労働省)

## 2 発見地ベースの自殺者数等

◇自殺統計(警察庁) 発見地を基に自殺死体発見時点で計上

- ・R2年に本県で発見された自殺者数は**182人**、自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、**22.4**と、前年度と同じであった。
- ・R2年の全国の自殺者数は、H21年以来11年ぶりに増加し、21,081人となり、自殺死亡率も、16.7へ上昇している。



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
自殺者数(山梨)	292	334	368	371	370	376	342	358	363	359
自殺死亡率(山梨)	32.8	37.5	41.4	41.9	41.8	42.7	39.0	41.1	41.9	41.6
自殺死亡率(全国)	24.4	25.2	27.0	25.3	25.5	25.1	25.8	25.2	25.7	24.7

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
自殺者数(山梨)	312	280	260	257	205	192	182	204	182	182
自殺死亡率(山梨)	36.4	32.9	30.7	30.6	24.6	23.1	22.1	25.0	22.4	22.4
自殺死亡率(全国)	24.0	21.8	21.4	20.0	18.9	17.3	16.8	16.5	16.0	16.7
順位	1位	1位	1位	1位	5位	5位	3位	1位	3位	2位

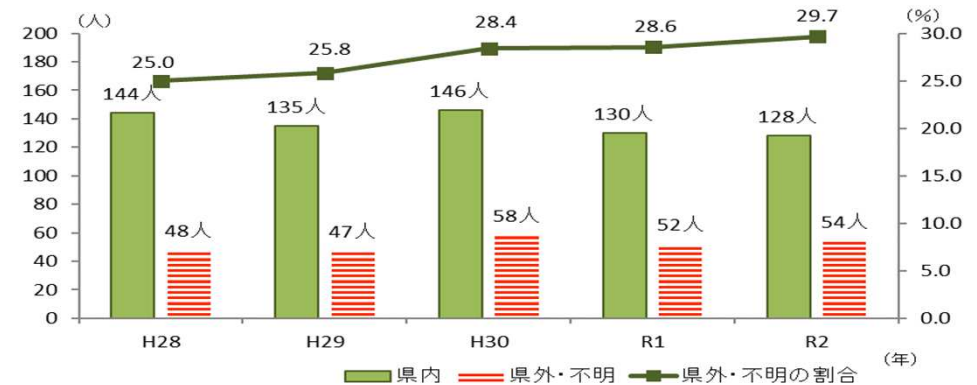
出典: 自殺統計(警察庁)

注: 令和2年の自殺死亡率は、令和3年3月16日に厚生労働省・警察庁が公表したもので、総務省「人口推計(令和元年10月1日現在)」に基づくもの。(概算値)

### 【発見地ベースと住居地ベースの比較】

- ・本県で発見された自殺者の約3割が、自殺前住居地が県外・不明となっている。
- ・県外から訪れる自殺者が多いため、住居地ベースの自殺者数を発見地ベースの自殺者が大きく上回っており、その割合は全国でも突出している。

表1: 自殺前住居地別の推移



出典: 山梨県における自殺の概況(山梨県警察本部)

表2: 発見地ベースの自殺者数と住居地ベースの自殺者数の比率(差が大きい上位5団体)

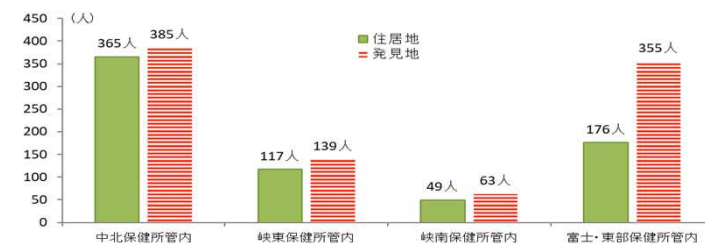
H30年				R1年				R2年			
団体名	発見地 a	住居地 b	比率 a/b	団体名	発見地 a	住居地 b	比率 a/b	団体名	発見地 a	住居地 b	比率 a/b
山梨県	204	149	1.369	山梨県	182	134	1.358	山梨県	182	134	1.358
福井県	134	119	1.126	和歌山県	172	152	1.132	鳥取県	85	78	1.090
佐賀県	161	144	1.118	栃木県	363	327	1.110	岐阜県	354	326	1.086
滋賀県	227	206	1.102	福井県	125	113	1.106	高知県	132	122	1.082
岐阜県	359	330	1.088	高知県	134	122	1.098	滋賀県	247	229	1.079

出典: 地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)のうち発見日を基準に障害福祉課作成。

### 【保健所管内別】

- ・全ての保健所管内で、住居地ベースを発見地ベースが上回っており、特に富士・東部保健所管内ではその傾向が顕著。

表3: 保健所管内別の住居地ベース・発見地ベースの自殺者の状況(H28~R2)



出典: 地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

### 3 令和3年の自殺の状況（住居地ベース）

人口動態統計（厚生労働省）は、概数の公表が調査月の約5ヶ月後となっており直近の状況が把握できないため、自殺統計（警察庁）から、発見日・住居地ベースのデータを集計。住民票の住所地で集計している人口動態統計とデータは近似になる。（ただし、外国人の扱いの差異や住所地と住居地の差異から厳密には両者は一致しない。）

図1：令和3年の自殺者の推移

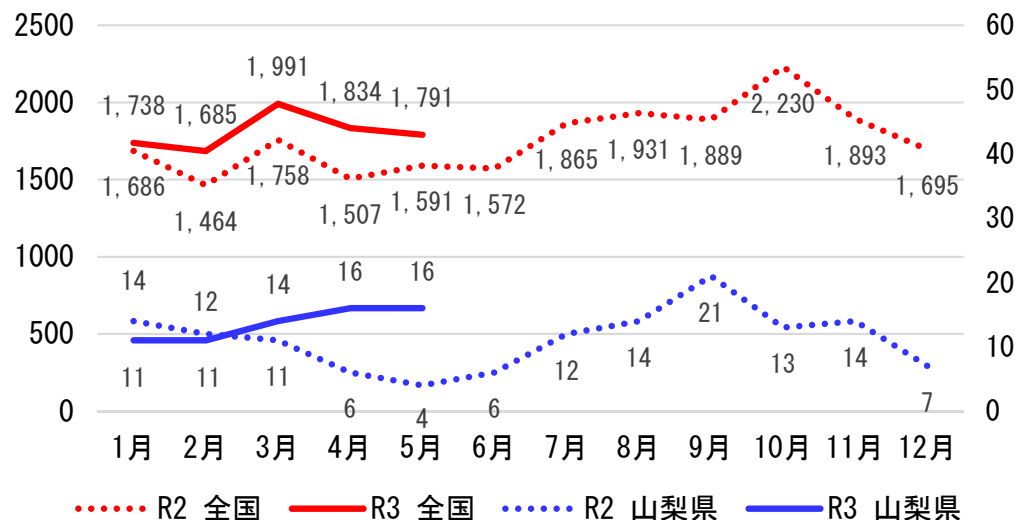


図2：1月～5月の自殺者の年齢別の前年同期との増減

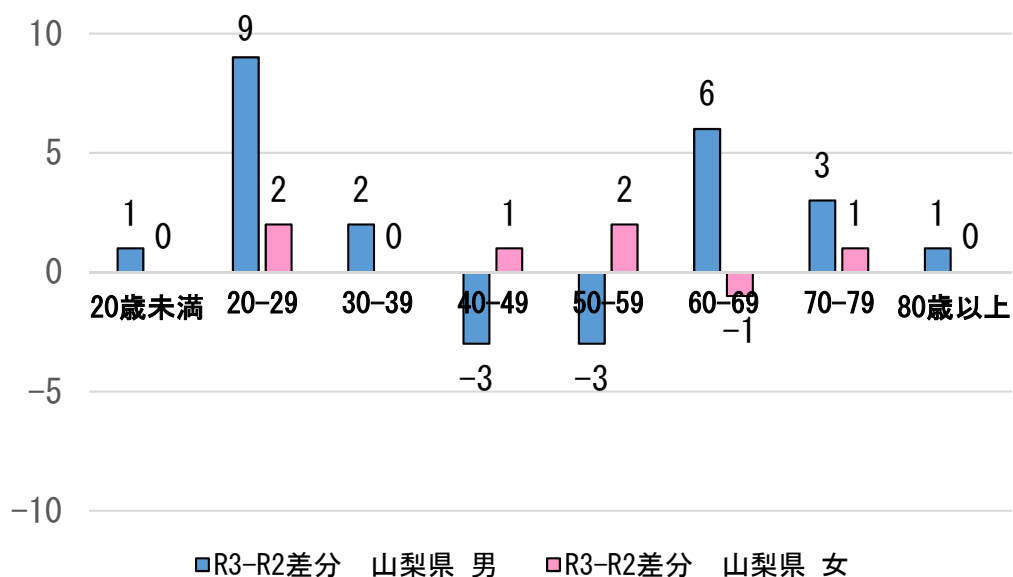


表1：令和3年1月～5月の自殺者数（全国比）

		R2年	R3年	増減率
全国	男	5,626	6,030	7.2
	女	2,380	3,009	26.4
	計	8,006	9,039	12.9
本県	男	34	50	47.1
	女	13	18	38.5
	計	47	68	44.7

表2：1月～5月の自殺者の職業の前年比較

	自営業・ 家族従業者	被雇用・ 勤め人	学生・ 生徒等	無職者	不詳
R2	8	14	0	25	0
R3	3	20	5	39	1
増減	△5	6	5	14	1

表3：1月～5月の自殺者の原因・動機の前年比較

	家庭 問題	健康 問題	経済・ 生活問題	勤務 問題	男女 問題	学校 問題	その他	不詳
R2	5	22	5	1	0	0	4	17
R3	4	33	7	7	1	0	2	29
増減	△1	11	2	6	1	0	△2	12

注：：明らかに推定できる原因・動機を一人につき3つまで計上可能としているため、自殺者数とは一致しない。

表4：生活状況別みた背景にある主な自殺の危機経路（例）

※厚生労働大臣指定法人いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロフィール2020」

**【20代男子学生】**

就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺

**【20～39歳男性 有職同居あり】**

職場の人間関係/仕事の悩み→パワハラ+過労→うつ状態→自殺

**【20～39歳男性 有職独居・非正規雇用】**

生活苦→借金→うつ状態→自殺

**【60歳以上男性 無職同居】**

失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ）→身体疾患→自殺

出典：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省） 注：R2年は確定値、R3年は6月18日時点の暫定値